



糸中だより

NO.5

糸魚川市立糸魚川中学校
〒941-0064 新潟県糸魚川市上刈4-1-1
TEL 025-552-1267 FAX 025-552-0360
Email: itoigawa@itoigawa.ed.jp
URL: <http://www.itoigawa.ed.jp/itoigawa/>

令和2年9月24日発行

「植えなきゃ咲かない」9月版

校長 七澤 伸一



9月5日（土）体育祭。糸中生はこれまで植えたものを、精一杯大きく咲かせました。生徒の熱意と団結が観衆を感動させました。保護者アンケートを引用します。

- ・最後に勝敗を気にせず、体育祭を楽しめたこと、準備してきた力を発揮できたことを団長はじめ応援団、団員みんなで讃え合っている姿に感動しました。この想いが毎年受け繋がれているのだなぁと思いました。

- ・コロナの中、体育祭を開催してもらえたことがうれしかったです。

- ・リモート配信、初の試み、良かったです。※次回（合唱コンの予定）改良します。

- ・初めての中学校体育祭でした。先輩が後輩を引っばっている姿、赤団、白団、それぞれの団結力、共に素晴らしかったです。競技中のそれぞれの応援する姿に感動し、パワーをもらいました。また、来年が楽しみです。

- ・子供たちが、本気で頑張る姿に感動しました。

- ・競技の点数が離れたことによる応援賞、パネル賞の付度はなかったことを信じています。子供たちはどれも一生懸命なので・・・※校長が最終集計をチェックし、得票のとおり決定したことをここに報告します。

- ・近年は酷暑対策が大変だと思います。難しいとは思いますが、時期の変更も視野に入れてはどうかと思います。※地球温暖化に対応する検討をしています。

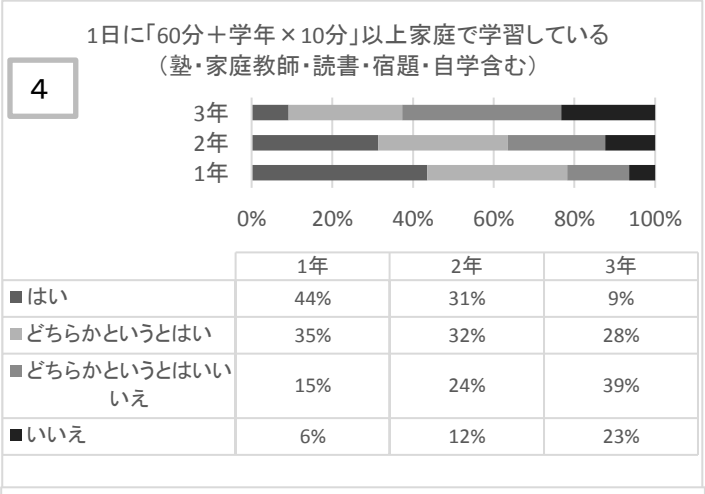
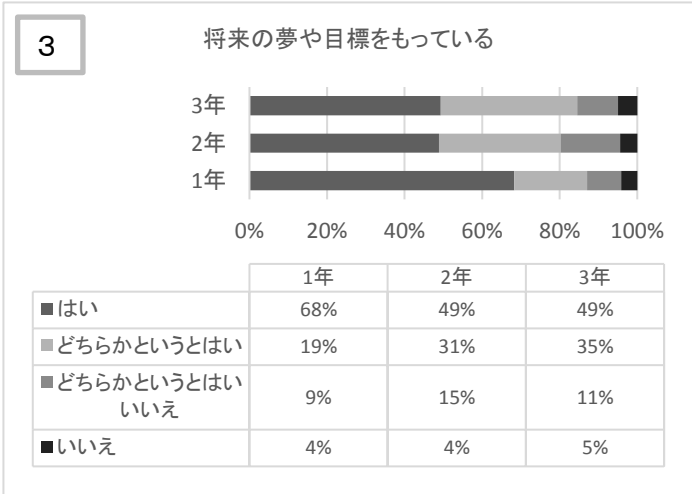
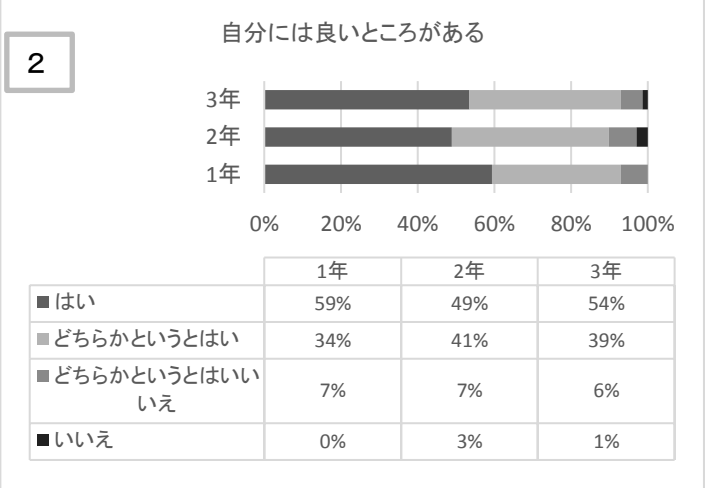
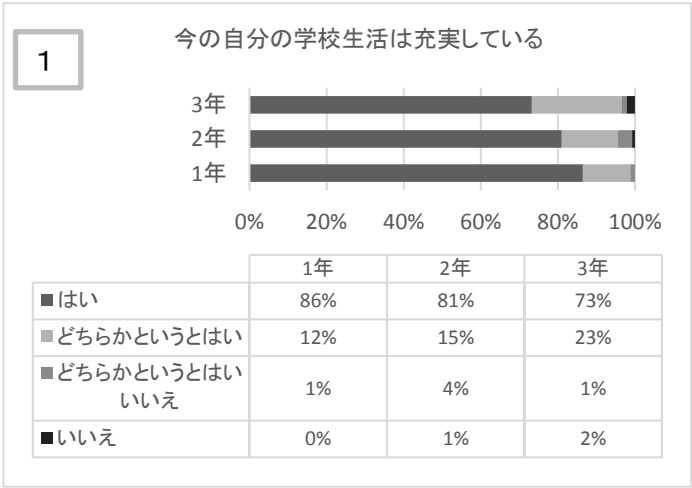
生徒の記述 ～この思いが一番大事～

- ・周りを見て自分から行動できるようになった。
- ・全力で取り組むことの楽しさを学んだ。
- ・リーダーの難しさを体験した。リーダーとして少しは力がついたように思う。
- ・3年間で一番いい体育祭になった。全力で取り組もうとする全員の気持ちを自分も感じることができた。

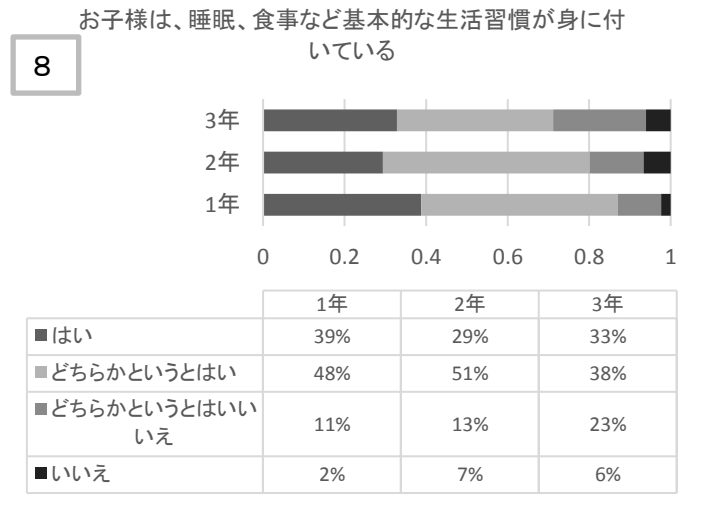
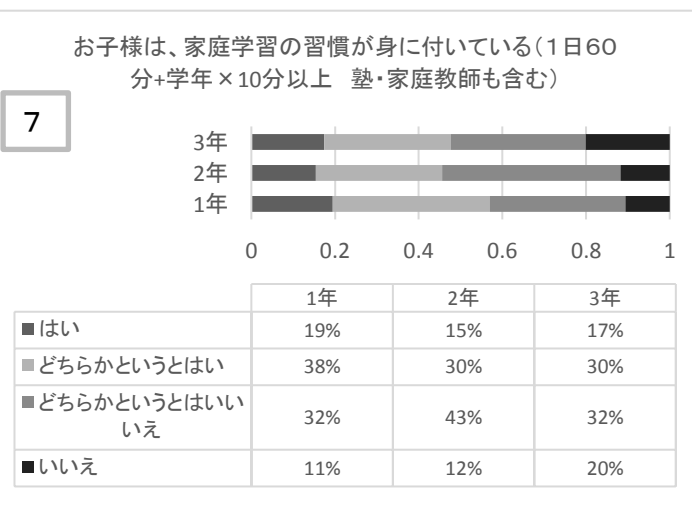
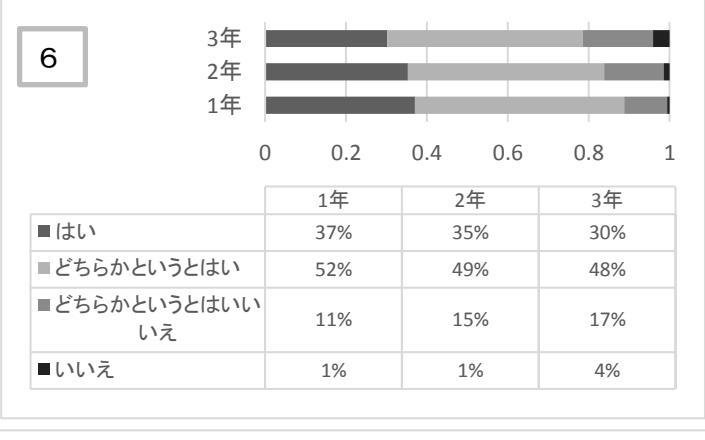
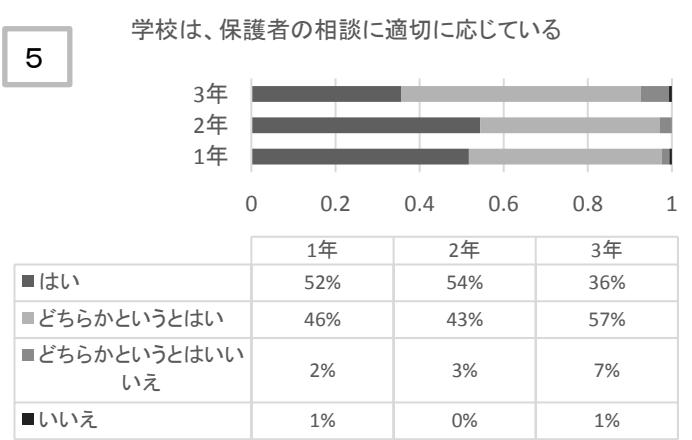
- ・悔いのない最高の体育祭でした。



1 生活アンケート(生徒)



2 保護者アンケート (グラフは、1 =100% で表示されています。)



3 保護者アンケートの自由記述と回答

○(子どもが)おたより等を全く出さないで学校の様子が分からない。何度言っても出さない。

(回答) 基本的なことができていない場合は、特に家庭と学校の協力が必要です。いつでも学級担任にお知らせください

○部活動(陸上部所属)ですが、(子どもが)楽な競技を選んでいるように感じます。幅広く色々な競技を経験し、自分に合った競技をみつけてほしいと思います。顧問の先生方のアドバイスもいただけるとありがたいです。

(回答) 本人、部活顧問、保護者の前向きな話し合いにより、生徒が自ら力を発揮できる環境を整えたいと思います。

○部活動もしているので自転車通学の区域を少し広げてほしいです。

(回答) 検討していきます。具体的な要望がありましたら遠慮なく学校(学級担任又は教頭)に連絡してください。

学校評価集計結果分析

～生活アンケート(生徒)～

グラフ1 学校生活の充実度の肯定的回答は96%を超え、多くの生徒が現在の自分の学校生活は充実していると感じていることが分かる。反面、4%の生徒の心情に寄り添う指導を大切にする。

グラフ2 自分の良いところについても、90%以上の生徒が肯定的回答を示し、多くの生徒が自分の良さを自覚していることを見取ることができる。今後も「糸中生は力を持っている」と実感できる学校生活を全員で創り上げていく。

グラフ3 将来の夢や目標をもっているという項目では、1年生87%、2年生80%、3年生84%という結果であった。グラフ1現在の学校生活の充実度、グラフ2自分の良いところ(自己理解)の数値から比べるとやや低い。

グラフ4 家庭学習「60分+学年×10分」以上をおおよそ行っている生徒は、1年生79%、2年生63%、3年生37%であった。グラフ1～4の中で最も低い数値を示している。「やらされる学習から、進んでやる学習」へ大人は良き環境をつくりたい。

グラフ1～4の結果から考えられること

グラフ1、2の高数値と比較してグラフ3、4はそれに比べると数値的にやや落ち込んでいる。グラフ3の将来の目標に対する意識と、グラフ4の家庭学習の時間の少なさに相関関係があるのではないと思われる。つまり、将来の目標への希薄さが家庭学習の時間の少なさに繋がっていることが考えられるのではないか。キャリア教育を中心とした進路学習、自主学習ノートを活用した家庭学習の指導に力を入れることで改善が期待される。(ここには載っていないが、「授業が分かる」という項目に1年生98%、2年生84%、3年生83%という数値であった。)

～保護者アンケート～

グラフ5 学校は保護者の相談に適切に応じているについて、肯定的回答は1年生98%、2年生97%、3年生93%であった。学校と保護者が連携して子どもの指導にあたっていることをうかがうことができる。

グラフ6 保護者から見た子どもの学校生活充実度では、肯定的回答が1年生89%、2年生84%、3年生78%と、学年が上がるごとに数値が下がっている。保護者から見ると、学年が上がるにつれて、子ども自身が学校生活への目標や充実度を低下させているように感じていることがうかがえる。

グラフ7 保護者から見て、家庭学習「60分+学年×10分」以上をおおよそ行っている生徒は、1年生57%、2年生45%、3年生47%であった。生徒アンケートの結果同様、保護者アンケートの中で最も低い数値を示した。

グラフ8 睡眠、食事など基本的な生活習慣が身に付いているかについては、1年生87%、2年生80%、3年生71%であった。学年が上がるにつれて基本的な生活習慣が崩れる傾向にあると保護者は感じている。

～学校評価を参考とした今後の学校方針～

1 「良さ」の継続

・生徒の主体的な活動が促進されるような学校づくりをこれからも進め、「自分には、自分たちには力があるんだ。」ということが実感でき、さらに頑張ってみようとする生徒を認め、励まし、育成する。
・生徒はもちろん、保護者や地域との良好な関係の中で、生徒一人一人の将来に夢と希望をもたせ、実生活を改善し、将来に繋がる教育を思い切って行う。

2 「課題」と「伝統」の明確化

・人前で堂々と自分の意見を言えない生徒の多くは、生活や学習においても自分を出せないことが多い。学校全体が明るく前向きな雰囲気の中、人の前で発言する機会を意図的に多く設け、「自分の気持ちを、自分の言葉で発信できる生徒」を日常的に育てていきたい。つまり、「やらされる中学校生活ではなく、自分たちの創りたい学校を生徒の総意で築いていく過程、その努力」を大切に、将来に語り継がれるような糸中の良き伝統としたい。

熱く燃えた体育祭

9月5日（土）に、体育祭が行われました。コロナ禍の中でしたが、応援席ではマウスシールドを着用し、通常通りに開催できたことを嬉しく思います。

保護者の皆さま、多数の応援をありがとうございました。

初めて糸中の体育祭を経験した1年生からは、次のような素直な声が聞かれました。



○応援合戦というのがあり、たくさん動いた！

○応援でダンスを踊る！

○パネルがある！

○先輩たちが燃えていた！

○クラスごとに団が決まる！

○プロジェクトで活動する！

○応援団長が聖火台に点火する！

○お弁当を親と食べない！

○赤白帽子をかぶらない！

○種目が違う（騎馬戦など）！



今後の主な行事予定

- 10月 1日（木）各種新人大会
2日（金） 7日（水） 8日（木） 9日（金） 教育相談
6日（火） 上進連テスト・6年生体験入学
9日（金） 科学研究発表会
14日（水） 地区駅伝大会
15日（木） 合唱中間発表会
PTA評議委員会
24日（土） 文化祭・合唱コンクール
28日（水） 計算力テスト
31日（土） 漢字検定

